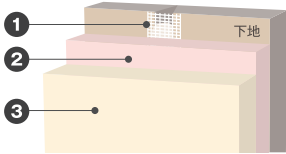


カルヌーヴォの施工方法

石膏プラスターボード下地の施工方法

事前の確認

石膏プラスターボードの貼りが万全でないと、継ぎ目からひび割れが発生する恐れがあるため、ボードが正しく貼られているか事前に確認してください。その後、石膏プラスターボード表面のほこり・汚れ等を除去し、健全な下地としてください。



① マルチベース/ハンディベースで目地処理

マルチベース1袋(20kg)に対して清水6.5ℓ(固練りの水量)を入れ、ハンドミキサーで3分以上十分に攪拌してください。ハンディベースは攪拌不要です。

石膏プラスターボードの継ぎ目部にマルチベースまたはハンディベースをしっかり埋め込み、ファイバーテープを貼り付けてください。さらに、その上にマルチベースまたはハンディベースをこすり付けるように塗り付け、ファイバーテープとなじませてください。

また、石膏プラスターボードに打ち込んだ頭釘にも、マルチベースまたはハンディベースをこすり付けるように塗り付けてください。

手につかない程度まで乾燥したら、全面塗りが可能です。

② マルチベース/ハンディベースで下塗り

マルチベース1袋(20kg)に対して清水7.5ℓを入れ、ハンドミキサーで3分以上十分に攪拌してください。ハンディベースは攪拌不要です。

マルチベースまたはハンディベースで下塗りを行い、追っかけで所定の塗り厚まで塗り付けてください。その後、水引きを見て金ゴテで平滑に押さえてください。

※ 出隅等で、石膏プラスターボードの切断面が露出した場合は、NPシーラック3倍液(NPシーラック1:2 清水)を塗布して乾燥させてから下塗りを行ってください。

③ 液体顔料練り混ぜ・上塗り

攪拌容器に所定量の水量の9割程度の清水を入れ、そこに顔料を投入して混ぜ合わせた後に粉体を入れてよく混練りしてください。空の顔料ボトルに残りの規定混水量を入れて、よく振って調整水としてご使用ください。液体顔料が均一に混ざるように、満遍なく攪拌してください。下塗りを行った後、水引きを見て仕上げ塗りを行ってください。また、必要に応じて、押さえやパターン付けを行ってください。

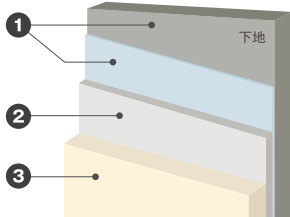
※ カルヌーヴォ1袋あたりの所定量(ラフタイプ:2.8ℓ、ソフトタイプ:3.1ℓ、ミルクタイプ:4.0ℓ)

※ 下塗りが完全に乾いたことを確認後、上塗りを行ってください。

外壁の施工方法 (モルタル・コンクリート下地の場合)

事前の確認

外壁で使える条件は、「しっかりと軒の出のある、直接雨掛りのない壁面」に限ります。軒の出のない壁面や軒天への施工は、耐久性に優れる弊社漆喰製品「漆喰くるむ外・漆喰くるむ外鏡押さえ」をご使用ください。外壁使用の場合、色物に関係なく白華(白く変色したり、極端な色ムラが起きる現象)の恐れがあります。モルタル・コンクリート下地は精度の高い仕上げを心がけてください。



① 下地の点検、シーラー塗布

脆弱部、汚れ等を入念に除去してください。その後、NPシーラック3倍液を刷毛等で下地面全面にムラなく塗布し乾燥させてください。

② 漆喰くるむ専用ベース材/ハンディベースで下塗り

漆喰くるむ専用ベース材に所定量の清水を混入し、ハンドミキサーで3分以上十分に攪拌してください。ハンディベースは攪拌不要です。

漆喰くるむ専用ベース材またはハンディベースで下塗りを行い、追っかけで所定の塗り厚まで塗り付けて平滑にしてください。

漆喰くるむ専用ベース材・ハンディベースの塗り厚を越える不陸調整には、土壁メンデ(別紙カタログ参照)をご使用ください。

※弊社セメント系下地調整塗材での不陸調整も可能です。

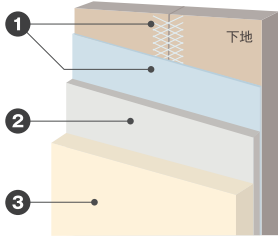
③ 外部用添加剤練り混ぜ・上塗り

カルヌーヴォ1袋に対して外部用添加剤1本と所定の水量より0.5ℓ少ない清水を入れ、ハンドミキサーで3分以上攪拌してください。顔料と所定の水量の9割程度の水を混ぜ合わせた後、粉体を入れて混練りしてください。ボトルに入った残りの水量は調整水としてご使用ください。液体顔料が均一に混ざるように、万遍なく攪拌してください。下塗りを行った後、水引きを見て仕上げ塗りを行ってください。また、必要に応じて、押さえやパターン付けを行ってください。

合板下地の施工方法

事前の確認

合板の貼りが万全でないと、継ぎ目からひび割れが発生する恐れがあるため、合板が正しく貼られているか事前に確認してください。合板表面のほこり・汚れ等を除去し、健全な下地としてください。



① アク止め処理

合板の継ぎ目にファイバーテープを貼り付けてください。

その後、合板全面にウルトラナノ浸透プライマーを原液のまま、刷毛やローラー等で下地面全面にムラなく塗布し乾燥させてください。

※アク止めを目的としている為、必ず2回塗布して下さい。(合板の種類によっては3回塗布が必要な場合があります。)

② 漆喰くるむ専用ベース材/ハンディベースで下塗り

漆喰くるむ専用ベース材に所定量の清水を混入し、ハンドミキサーで3分以上十分に攪拌してください。

ハンディベースは攪拌不要です。

漆喰くるむ専用ベース材またはハンディベースで下塗りを行い、追っかけで所定の塗り厚まで塗り付けて平滑にしてください。

③ 液体顔料練り混ぜ・上塗り

カルヌーヴォ1袋に対して液体顔料1本と所定の水量(ラフタイプ:2.8ℓ、ソフトタイプ:3.1ℓ、ミルクタイプ:4.0ℓ)を入れ、ハンドミキサーで3分以上攪拌してください。顔料と所定の水量の9割程度の水を混ぜ合わせた後、粉体を入れて混練りしてください。ボトルに入った残りの水量は調整水としてご使用ください。液体顔料が均一に混ざるように、万遍なく攪拌してください。下塗りを行った後、水引きを見て仕上げ塗りを行ってください。また、必要に応じて、押さえやパターン付けを行ってください。

※ 下塗りが完全に乾いたことを確認後、上塗りを行ってください。

国土交通大臣認定防火材料

認定番号

NM-3054

区分

不燃材料

消石灰系塗材・炭酸カルシウム系塗材

日本プラスター株式会社

日本建築仕上材工業会登録

登録番号

0306002

放散等級区分

F☆☆☆☆

問い合わせ先

http://www.nsk-web.org/



ラフ Rough Type

粗い天然石が多く含まれており、立体感のあるラフパターン仕上げを創出します。大空間のあるインナーウォールに最適です。

ソフト Soft Type

細かい天然石が入っており、平滑な仕上げからソフトなパターン仕上げまで、幅広い仕上げを演出するスタンダードタイプです。

ミルク Milk Type

天然石が一切含まれていないため、きめ細かい仕上げを可能にします。艶やかな漆喰磨き仕上げ・鏡押さえ仕上げに最適です。

JIS A 6909 (建築用仕上塗材) による試験結果

試験項目		カルヌーヴォ			品質基準※1
		ソフトタイプ	ラフタイプ	ミルクタイプ	
耐衝撃性		ひび割れ、著しい変形及び剥がれなし	ひび割れ、著しい変形及び剥がれなし	ひび割れ、著しい変形及び剥がれなし	ひび割れ、著しい変形及び剥がれないこと
付着強さ(N/mm)	標準養生	1.0	0.6	0.8	0.3以上
耐アルカリ性(A性)		ひび割れ、剥がれ、膨れ及び軟化溶出し、浸さない部分に比べて、著しくもり及び変色なし	ひび割れ、剥がれ、膨れ及び軟化溶出し、浸さない部分に比べて、著しくもり及び変色なし	ひび割れ、剥がれ、膨れ及び軟化溶出し、浸さない部分に比べて、著しくもり及び変色なし	ひび割れ、剥がれ、膨れ及び軟化溶出し、浸さない部分に比べて、著しくもり及び変色しないこと

※1：内装薄塗材L



日本プラスター株式会社

本社・工場/〒327-0311 栃木県佐野市多田町188-2
TEL: 0283-62-6511 (代) FAX: 0283-62-8851

東京営業所/〒110-0015 東京都台東区東上野3-38-4
< SHIKKUI Design STUDIO -TOKYO- >

西日本営業所/〒604-8305 京都府京都市中京区市之町170
TEL: 075-406-5031 (代) FAX: 075-406-5032

日本プラスターの

色漆喰

Cal Nouveau®

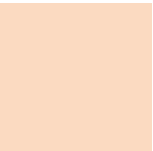
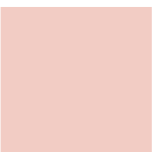
カルヌーヴォ



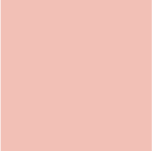
Best Walls, Best Life しっくいと共に

日本プラスター株式会社

Yellow Color

							
C-Y11	C-Y12	C-Y13	C-Y14	C-Y21	C-Y22	C-Y23	C-Y24
							
C-Y31	C-Y32	C-Y33	C-Y34	C-Y41	C-Y42	C-Y43	C-Y44
							
C-Y51	C-Y52	C-Y53	C-Y54				

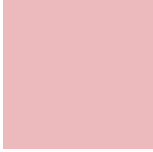
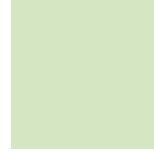
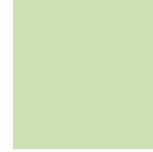
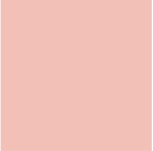
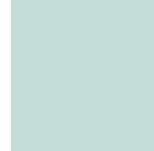
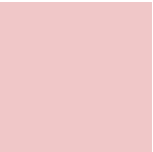
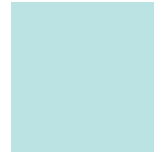
Orange Color

			
C-O11	C-O12	C-O13	C-O14

White Color

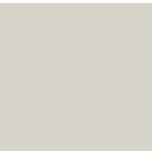
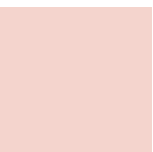
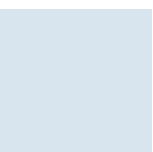
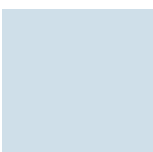

C-W11

Red Color

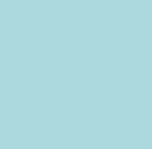
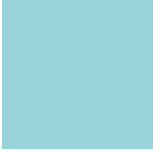
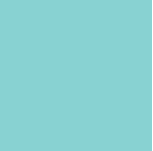
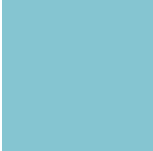
							
C-R11	C-R12	C-R13	C-R14	C-G11	C-G12	C-G13	C-G14
							
C-R21	C-R22	C-R23	C-R24	C-G21	C-G22	C-G23	C-G24
							
C-R31	C-R32	C-R33	C-R34	C-G31	C-G32	C-G33	C-G34

Green Color

Earth Color

							
C-E11	C-E12	C-E13	C-E14	C-E21	C-E22	C-E23	C-E24
							
C-E31	C-E32	C-E33	C-E34	C-E41	C-E42	C-E43	C-E44
							
C-E51	C-E52	C-E53	C-E54	C-E61	C-E62	C-E63	C-E64
							
C-E71	C-E72	C-E73	C-E74	C-E81	C-E82	C-E83	C-E84

Blue Color

			
C-B11	C-B12	C-B13	C-B14
			
C-B21	C-B22	C-B23	C-B24

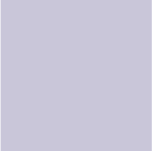
[色No.構成]

C-Y12

カルヌーヴォ カラー 色番号 レベル

- カルヌーヴォをご用命の際は、カラー(93色のいずれか)とタイプ(ラフ・ソフト・ミルクのいずれか)をご指定ください。
- 外壁に使用する場合は、「外壁仕様」(外壁仕様は専用の外部用添加剤が別途必要)をご指定ください。

Purple Color

			
C-P11	C-P12	C-P13	C-P14

※カタログ表記の色は、印刷の性質上、実際の色と異なります。
ご採用の際は、必ず実物の色見本をご確認ください。
※カルヌーヴォは漆喰です。
現場の環境や施工下地、仕上がり方により色ムラ、色幅が出ます。

カルヌーヴォ施工事例

■ モデルハウス

江東区

■ Bar うずら

渋谷区

■ 川越市立美術館

川越市

